

## 令和3年度第1回小牧市少年センター運営協議会 議事要旨

【日 時】令和3年6月1日（火） 午後2時～午後2時30分

【会 場】小牧市役所本庁舎6階601会議室

【出席委員】采女 隆一、永井口 英史、谷田貝 将典、牧野 かおる、松浦 悟示、木村 由美、野々川 和明、舩橋 清水、稲垣 幸恵（9名）

【欠席委員】山田 満貴

【事務局】櫻井こども未来部次長、伊藤課長、植松少年センター所長、杉浦少年センター副所長、大澤指導員、千種指導員、若林係長、武田指導員、荒川主事補

【ワザパー】丹羽主幹（市民安全課）、大久保指導主事兼副主幹（学校教育課）

【傍聴者】なし

【内 容】

### 1 あいさつ

（次長）日頃から青少年の健全育成のため格別のご尽力を賜り、お礼申し上げます。少年センターでは、少年の非行化・また被害を防止し、健全な育成を図るために、街頭パトロールや相談事業などを中心に活動をしています。

本会議につきましては、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での開催とさせていただきましたが、本日は今年度の活動方針や実施計画など、皆様からの忌憚のないご意見を頂きたいと思っております。また、今後とも青少年の健全育成・非行防止のためお力添えをいただきますようお願いを申し上げます。

### 2 役員選出

会長・・・・・・・・野々川和明委員

職務代理者・・・木村由美委員（会長の指名による）

（会長）微力ではございますが、市内の青少年の健全育成のために全力を尽くしていきたいと思うので、委員の皆様方のご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

近年は少子高齢化が進んでいますが、地域全体で子ども達を見守っていく活動は非常に重要なことであると思っております。少年センターは、小牧市の青少年を見守り、いろいろな事業計画をたてている重要な機関でありますので、本日は忌憚のないご意見を頂きたいと思っております。

### 3 議 題

（1）令和3年度活動方針について

（2）令和3年度実施計画について

○要覧1ページから14ページに基づき少年センター所長より説明

(3) 補導・相談活動について

○補導：要覧15ページから17ページに基づき少年センター職員が説明

【質疑応答】

《木村委員》新型コロナウイルスの感染拡大により、以前と比べ、保護者が学校に行く機会が減ったり、補導員のパトロールが中止になるなど、子ども達を見る機会が減った。来所相談の内容についてコロナ前と変わった点や気になる点があったら教えてほしい。

《事務局》コロナ後の方が相談件数は減っている。少年センターで長年にわたってカウンセリングを受けていた相談者がカウンセラーの個人事業の相談へ移ったこと、学校が休校となり、不登校の子どもとの相談が減ったこと、学校でのコミュニケーションの場が減り、関連する人間関係のストレスが減ったことが全体の相談件数が減少した要因である。

(4) その他

なし

#### 4 懇談

《永井委員》令和2年度は前年度と比較し、少年非行が10%ほど減少しているのに対し、少年補導は前年度と比較し187件増えている。少年の喫煙・深夜徘徊の増加や全国的な少年の薬物事犯の増加が傾向としてみられる。今後、少年補導の場を通じて、薬物事犯が低年齢化していかないように地域で連携しながら、見守りを強化していきたい。最近では、ネットトラブルについての相談も増えてきている。教育機関と連携を行い、スマホ教育など対策をしていきたい。

#### 5 連絡依頼事項

6月30日(水)、11月30日(火)に「笑顔でさきがけあいさつ運動」の一斉啓発を予定している。